

10/20 (月) 菊池市音楽協会が合唱組曲「菊池」の楽譜100冊を寄贈

菊池市音楽協会（安見朱實会長）が、合唱組曲「菊池」の楽譜100冊を菊池市に寄贈されました。この組曲は、菊池の自然の素晴らしさを表現した「水源」、御松囃子御能などの歴史を紹介した「歴史の部」、これからみんなで元気な街を作っていこうという気持ちを表現した「元気な街」の3部構成からなる合唱曲です。

平成10年に菊池市で行われた「第11回熊本県民文化祭きくち」を記念して、堀川喜八郎氏作詞・出田敏三氏作曲により作られたものです。今年5月に同協会が「多くの人に組曲を歌ってもらい菊池の名を全国に広めたい」との思いで製本されました。

田中教育長を訪れたメンバーは「たくさんの人に歌い継がれていくことを願っています。今後は、中学校へ練習用のCDも贈ります」と話されました。贈られた楽譜は、市内の中学校らで音楽の授業やクラブ活動などに活用されます。寄贈、ありがとうございました。



田中教育長（右）に楽譜を寄贈するメンバー

10/18(土)～10/20(月) 節子さんが菊池市を訪問

スイス在住で菊池一族の末裔にあたる、節子・クロソフスカ・ドーラ（出田節子）さんが、高松宮殿下記念世界文化賞の20周年記念行事出席のため来日され、併せて菊池市を訪問されました。節子さんは、20世紀最後の画家と言われた具象派絵画の巨匠バルテュス（1908～2001）の妻で、ご自身も画家です。

4回目の菊池市訪問となる今回は「和と寄り添う暮らし」と題した文化講演会も開催され、市民はもとより市外から200人を超える参加がありました。講演会では「ただいま帰ってまいりました」と挨拶され、在りし日のバルテュス氏と暮らし、現在のお住まいでもある「グラン・シャレ」（スイス最大の木造建築）での生活や、バルテュス氏との思い出をエピソードに「もっと日本人が日本の伝統文化を知り、その美しさや素晴らしさに誇りを持ち、生活の中で活かして欲しい」と話されました。



菊池神社で、西郷隆文氏（左）と出会う節子さん



菊池夢美術館で、作品を鑑賞される節子さん（左）

また、菊池市に滞在中は、鞠智城のほか菊池一族ゆかりの地である菊の池（深川区）や、菊池北中学校、菊池夢美術館などを訪ねられました。菊池神社では、西郷隆盛のひ孫にあたる西郷隆文氏との出会いもありました。同じ菊池氏の末裔である2人が、ゆかりの菊池神社でお会いするという、大変奇遇なうれしいハプニングでした。

10/23(木) 酒井さん、丸山さん、安井さんがチャレンジ!おおいた大会での活躍を報告



報告に訪れた3人。一番左が丸山さん、右から2番目が酒井さん、一番右が安井さん

10月11日（土）から13日（祝）までの3日間、大分県内で行われた第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ!おおいた大会」に、菊池市から3人が出場し大活躍しました。福村市長を訪れた3人は「緊張したけど最後まで頑張ることができました。いい経験ができました」と、大会を振り返りました。3人の結果は次のとおりです。

- 酒井幸男さん 知的障害者壮年男子走り幅跳び 1位(金メダル)、同50m 3位(銅メダル)
- 丸山晃平さん 知的障害者少年男子100m 6位、同200m 7位
- 安井アキラさん 知的障害者少年男子50m 8位、ジャベリックスロー 4位

10/15 (水) 江頭さんが「ブラジル移民の父」と慕われた上塚周平氏の活躍を綴った本を寄贈

江頭隆生さん（隈府出身・熊本市在住）が、「ブラジル移民の父」と慕われた上塚周平氏の活躍を綴った「伝録-上塚周平-海を跳んだキナセン」10冊を、ふるさとの人にもぜひ読んでもらいたいと菊池市に寄贈されました。上塚周平氏は1876年熊本県に生まれ、1908年に初のブラジル移民船「笠戸丸」で監督官としてブラジルに渡り、入植地づくりに奔走し「プロミッソン植民地」を創設するなどの活躍をしました。江頭さんの同級生がブラジルで上塚氏のことを聞き、しかも母校・済々黌の出身と知り、後世に語り継ぎたいと顕彰会を発足させ、学習会を重ねてきました。その成果として、江頭さんが著者となり本にまとめ、今年4月の自費出版となりました。

田中教育長を訪れた江頭さんは「若い人にぜひ読んでもらい、上塚氏の生き方から、これからの国際人としてのありかたを学んでほしい」との思いを話されました。

寄贈された本は、市内の各中学校図書室と、中央公民館・七城公民館・旭志公民館の各図書室、泗水図書館に置かれています。寄贈、ありがとうございました。



田中教育長（右）を訪れ、本を寄贈した江頭さん（左）

10/15(水) 新明保育園のお神輿行列



小原区内を練り歩く新明保育園の園児

新明保育園の園児たち89人によるお神輿行列が、旭志の小原区内を練り歩きました。このお神輿行列は、毎年この時期に行われ、小原・妻越・伊萩・津留の4区の神社を1年交代で周ります。

27回目を迎える今年は、小原区の神社を参拝する年にあたり、午前9時に同区内にある斉藤広幸さん宅を出発し、約30分をかけて神社までの道のりを練り歩きました。神社に到着すると「ニコニコ音頭」などの踊りを2曲奉納し、園児たちが1年間健やかに育つことができるように祈念しました。

当日は、保護者のほかに地区住民など多くの人に見守られながら、園児たちの元気な声が地区一帯に響いていました。

農林水産大臣から感謝状

「統計の日（※）」を記念して「農林水産大臣感謝状及び表彰状伝達式」（九州農政局統計部主催）が行われ、農林水産省が実施する農林水産統計調査に永年にわたってご協力した皆さんに、その功績を称え農林水産大臣から感謝状が贈られました。

今年は、菊池市から川口虎次さん、矢島靖雄さん、今村由美子さん、水田睦郎さん、志水幸市郎さん・美和さんご夫妻が、永年協力されたことにより受賞されました。

※統計の日…昭和48年7月の閣議了解により、10月18日が「統計の日」と定められました。これは、統計の重要性について、国民の皆さんに関心と理解を持っていただき、統計調査に対する一層の協力を推進することを目的に設けられたものです。

この10月18日は、我が国における近代産業統計の源である「府県物産表」に関する太政官令が布告された、明治3年9月24日を、太陽暦に換算した日が10月18日だったことによります。



感謝状が贈られた皆さん。上段左から川口さん、矢島さん、下段左から水田さん、志水さん